

# BBS会会長賞

堺市立 大仙小学校 六年

児島 謙

まずは、「おはよう」からはじめよう。

僕は、約九十世帯の暮らすマンションに住んでいます。

僕の同級生も暮らしていますが、おじいさんやおばあさんもたくさん暮らしています。

僕は、朝出かける時、午後帰った時など、同じマンションで暮らす人やマンションの管理人さんに

「おはようございます。」

「ただいま。」

「行つてきます。」

と進んで挨拶をします。

そうすると、多くの場合、  
「おはよう。」「行つてらっしゃい。」「お帰り。」

ではなぜ、多くの大人が子どもたちに挨拶することが大切とい  
うのでしょうか。改めて調べることにしました。

挨拶には、①相手に敵意がないことを表す、②相手を尊重する  
気持ちを表す、③同じ集団にいることを確認する意味があるよう  
です。

挨拶することで、お互いが同じ集団の中にいて、安心感を共有  
し、気遣いのある関係をつくる、単なる形式的なことではなく、

信頼や安心、相手への敬意を示す大事な行いだということが分か  
りました。

と、当たり前に気持ちよく返してくれます。

僕があまり覚えてなくとも、久しぶりに見かけられた人から、  
「大きくなつたね。何年生?」

いきなり知らない人と「おはようございます。」と言うより、学校や家族などのしゃべりやすい人からどんどん話してみてはどうでしょう。

逆にあいさつをしないと、どのようなことが起きるのでどうか二つに分けて説明します。

一つ目は、人前で立って自分の意見を言えるか言えないかです。まず、僕はふだんから、授業を受けている中で、できるだけ前へ出て、わかりやすく説明できるように努力しています。

さらに、伝わるように、はつきりと分かりやすい声でしゃべることを意識しています。それは、どのような人に対しても、仲のよい人とのかべをつくらず、「おはようございます。」としゃべりかけてはいかがでしようか。

二つ目は、災害での避難活動でこまることです。いつも近所の人と顔をあわせておくと、一人の時でも、だれかが分かるから、不安がなくなり、助けを求められるのではないかと考えます。

ここから、毎日のあいさつは、いつかまた役に立つ日がくるでしょう。

挨拶について調べて、僕は確信しました。

信頼や安心感は、すぐにはつくれないものだから、きっと毎日毎日の積み重ねがすごく大事なのです。

んなで助かり、生きぬくには、このつながりが大事だと思います。挨拶は、起きた瞬間から始まる未来につながるコミュニケーション。まずは、「おはよう。」からはじめよう！

